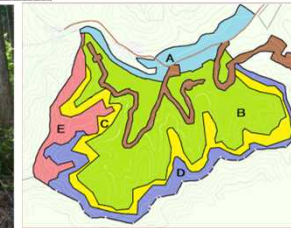


国立研究開発法人森林総合研究所 九州支所研究員の視察案内を実施

平成27年10月27・28・29日



筑波山複層林試験地では、35haにわたる8タイプ20区画の各試験タイプの説明と踏査を行いました。中でも長期循環育成施業試験地では各伐区の大きさの基準について関心を持たれていました。



当センターの中核となる大沢試験地では、生態的管理に基づく施業管理区分や生物多様性に向けた取り組みについて説明しました。生物多様性の評価方法、施業管理区分の決め方について関心を持たれていました。

国立研究開発法人森林総合研究所 九州支所研究員の視察案内を実施

平成27年10月27・28・29日



溪畔林再生試験地では、全国でもいち早く2003年から取り組んだ約10年間の調査結果を説明しながら林内を踏査しました。低位段丘を主とする既調査に加え、高位段丘及び周辺崖垂地での調査にも関心を持たれていました。



東日本最古のヒノキ人工林である佐白山高齢級林分調査地では、成立の経過やその林分組成などを、他の高齢級林分調査地の林分組成と比較しながら、林内を踏査しました。